

No.	科目	クラス	場所	単元名	内容(みどころ)	教科横断型	TO学習	ICT活用	弁証法的授業	STEAM型	課題解決型	問い作り	協働的な学び	個別最適な学び	ALTコラボ	その他
31	理科	2B	化学室	回路の電流	グループでブラックボックスの中の回路を推察します。スクラッチを用いたシミュレーションで課題を出題し、デジタルホワイトボードとしてロイロノートの共有ノートを使用します。											
32	英語R	2C	2C教室	「Lesson 6 Action 森林伐採の影響を考えよう」	Lesson 6のRead教材で、スマトラ島での森林伐採の現状およびその目的、影響、対策について読む。Actionでは、Readで学んだ英語表現を使い、スマトラ島以外の地域で起こっている森林伐採について調べ、プレゼンテーションを行う。			○								
33	技術	2C	技術室	電気回路と回路図	身の周りの技術に目を向け、仕組みや工夫に気付いたり、自分なりの考えをもったりして友達と対話をしながら主体的に学びます。また、電気回路と回路図の基礎(例:①懐中電灯②扇風機③2階建ての階段)について学び、電気回路や回路図について理解を深めます。考える手段として、ICTを活用します。授業の始めに、Google foamで質問に答えながら、本時の学習内容を知り、製品の中を想像しながら、ロイロノートに書き込み自分の考えを深めます。			○								
34	技術	2C	技術室	電気回路と回路図	身の周りの技術に目を向け、仕組みや工夫に気付いたり、自分なりの考えをもったりして友達と対話をしながら主体的に学びます。また、電気回路と回路図の基礎(例:①懐中電灯②扇風機③2階建ての階段)について学び、電気回路や回路図について理解を深めます。考える手段として、ICTを活用します。授業の始めに、Google foamで質問に答えながら、本時の学習内容を知り、製品の中を想像しながら、ロイロノートに書き込み自分の考えを深めます。			○								
35	英語	2C 3C	総合実践室	プレBH語学研修	TO学習。2年生2名+3年生2名のグループを作り、3年次が2年次にBHの経験を伝えます。BH語学研修を直前に控えた2年生が昨年度行った3年生より経験を聞くことで具体的な準備につなげる。3年生は発表を通して昨年度の経験を振り返る。											
36	英語、美術	2D	美術室	「国際デー」カレンダー(ポスター)を作ろう	まず、英語の授業で調べた国際デーについてできるだけ簡潔に友達に説明する。友達に伝えることで、ポスターデザインのイメージを膨らませる。その後、デザインの核となるピクトグラムについて学ぶ。後半は、各自膨らませたイメージをもとにポスター制作に取りかかる。	○										
37	社会	2D	2D教室	第4章4節のまとめ 「なぜ幕府の政治改革は繰り返されたのだろう」	ロイロノートをを使い、知識の確認、意見交換、情報発信、リフレクションを行います。討論も行う予定です。時間次第では、共有方法として、ジグソー法またはワールドカフェ方式を使います。											○演劇的手法「問い」複合型
38	理科	2D	2F化学室	磁力と磁界	磁力について知っている知識を手がかりにして、より深い「磁界」についての理解を目指します。見えない磁界を可視化する工夫として、シミュレーションソフトを用います。グループで対話ができるようにデジタルホワイトボードとしてJamboardを使用します。			○								
39	英語	2D 3D	総合実践室	プレBH語学研修	TO学習。2年生2名+3年生2名のグループを作り、3年次が2年次にBHの経験を伝えます。BH語学研修を直前に控えた2年生が昨年度行った3年生より経験を聞くことで具体的な準備につなげる。4年生は発表を通して昨年度の経験を振り返る。											
40	英語	2D 3D	総合実践室	プレBH語学研修	TO学習。2年生2名+3年生2名のグループを作り、3年次が2年次にBHの経験を伝えます。BH語学研修を直前に控えた2年生が昨年度行った3年生より経験を聞くことで具体的な準備につなげる。4年生は発表を通して昨年度の経験を振り返る。											
41	化学基礎	3A	地学室(2F)	水素イオン濃度	万能pH指示薬を使い塩酸及び水酸化ナトリウム水溶液の希釈実験を通して、水素イオン濃度及びpHについて視覚的な理解を図る。さらに、できた水溶液の反応実験を通して中和反応の量的関係の理解を深めるとともに、中和滴定実験の導入とする。					○						
42	技術	3A	3A教室	技術と私たちの未来	技術の学習のまとめとして、Society5.0の未来を見据えた社会との関わりについて、自分の考えを発表し、よりよい未来について検討します。発表は一人一台端末で、chromebookを使用して発表し合います。			○								
43	国語A	3A 3B 3D	各教室	評論「未来のための江戸学」	ジグソー法的手法を用いて評論読解を行います。設問に対して、個による思考→他者との対話による思考の深化→アウトプットによる思考の整理→個による解答分析という流れで進める予定です。 ※授業前半は通読等がありますので、授業開始20分以降を目安にご覧いただければ幸いです。			○	○	○						
44	国語A	3A 3B 3D	各教室	評論「未来のための江戸学」	ジグソー法的手法を用いて評論読解を行います。設問に対して、個による思考→他者との対話による思考の深化→アウトプットによる思考の整理→個による解答分析という流れで進める予定です。 ※授業前半は通読等がありますので、授業開始20分以降を目安にご覧いただければ幸いです。			○	○	○						
45	国語A	3A 3B 3D	各教室	評論「未来のための江戸学」	ジグソー法的手法を用いて評論読解を行います。設問に対して、個による思考→他者との対話による思考の深化→アウトプットによる思考の整理→個による解答分析という流れで進める予定です。 ※授業前半は通読等がありますので、授業開始20分以降を目安にご覧いただければ幸いです。			○	○	○						
46	国語 古典	3A 5C	3A教室 5C教室	百人一首で学ぶ文法 ～係り結び(助動詞)～	TO学習なので、上級生が下級生に教えるのですが、通常と違う点は「3年生が説明するのを聞いて、5年次生が評価する」点です。下級生は教えてもらうだけ、上級生は教えるだけ、とならないように工夫しました。3年次生は係り結びが含まれる百人一首をプレゼンします。5年次生は助動詞が含まれる百人一首をプレゼンして、3年次生に助動詞が含まれる問題を出題します。3年次生20名と5年次生20名がそれぞれの教室にいます。		○									
47	社会	3B	3B教室	個人の尊重と日本国憲法 ～憲法9条は改正すべきか～	3年後に選挙権をもつ生徒が憲法改正の国民投票をするとしたら、どのように判断していけばいいか考える授業を構成する。今回は9条に限定し、改正について専門家らの意見の調査と思考の整理にChromebookを活用し、それをもとにディベートを行う。			○	○							
48	社会 英語R	3B 3A 3C	各教室	日本の伝統文化について考えを伝えよう	社会科と英語Rそれぞれで学んだことをもとに、日本の伝統文化の在り方について自分の考えをもち、海外の方にも伝わるように英語で表現する活動を行う。英語Rでは、平成中村座のスーパー歌舞伎について取り上げた題材があり、伝統文化の保護についての意見を表現する活動が取り入れられている。事前学習として社会科で伝統文化について調べ自分の考えをまとめる活動を行っており、それらをもとに英語で議論をし、考えを表現し伝えることの難しさや大切さに気付けるようにする。	○				○						

No.	科目	クラス	場所	単元名	内容(みどころ)	教科横断型	TO学習	ICT活用	弁証法的授業	STEAM型	課題解決型	問い作り	協働的な学び	個別最適な学び	ALT/コラボ	その他	
49	国語 古典	3B 5D	3B教室 5D教室	百人一首で学ぶ文法 ～係り結び(助動詞)～	TO学習なので、上級生が下級生に教えるのですが、通常と違う点は「3年生が説明するのを聞いて、5年次生が評価する」点です。下級生は教えてもらうだけ、上級生は教えるだけ、とならないように工夫しました。3年次生は係り結びが含まれる百人一首をプレゼンします。5年次生は助動詞が含まれる百人一首をプレゼンして、3年次生に助動詞が含まれる問題を出題します。3年次生20名と5年次生20名がそれぞれの教室にいます。		○										
50	国語A 古典B	3C 5A	3C教室 5A教室	漢文入門	TO学習。5年生2名+3年生2名のグループを作り、5年次が3年次に「再読文字」を教えます。各グループの5年次がそれぞれ工夫を凝らし、初めて再読文字を学習する3年次に「わかりやすく」「正しく」再読文字を教えます。		○										
51	国語A 古典B	3C 5A	3C教室 5A教室	漢文入門	TO学習。5年生2名+3年生2名のグループを作り、5年次が3年次に「再読文字」を教えます。各グループの5年次がそれぞれ工夫を凝らし、初めて再読文字を学習する3年次に「わかりやすく」「正しく」再読文字を教えます。		○										
52	国語 古典	3C 5B	3C教室 5B教室	百人一首で学ぶ文法 ～係り結び(助動詞)～	TO学習なので、上級生が下級生に教えるのですが、通常と違う点は「3年生が説明するのを聞いて、5年次生が評価する」点です。下級生は教えてもらうだけ、上級生は教えるだけ、とならないように工夫しました。3年次生は係り結びが含まれる百人一首をプレゼンします。5年次生は助動詞が含まれる百人一首をプレゼンして、3年次生に助動詞が含まれる問題を出題します。3年次生20名と5年次生20名がそれぞれの教室にいます。		○										
53	英語G	3D	3D教室	Reading Oceansを使用した プレゼンテーション活動	英語多読多読システムReading Oceansで読んでいる英語の本の要約をクリエイティブに行います。デザインアプリCanvaを使って生徒それぞれが作成したインフォグラフィックを元に、英語によるプレゼンテーションを行います。			○		○							
54	社会 英語R	3D	3D教室	日本の伝統文化について考えを伝えよう	社会科と英語Rそれぞれで学んだことをもとに、日本の伝統文化の在り方について自分の考えをもち、海外の方にも伝わるように英語で表現する活動を行う。英語Rでは、平成中村座のスーパー歌舞伎について取り上げた題材があり、伝統文化の保護についての意見を表現する活動が取り入れられている。事前学習として社会科で伝統文化について調べ自分の考えをまとめる活動を行っており、それらをもとに英語で議論をし、考えを表現し伝えることの難しさや大切さに気付けるようにする。	○											
55	国語 古典	3D 5A	3D教室 5A教室	百人一首で学ぶ文法 ～係り結び(助動詞)～	TO学習なので、上級生が下級生に教えるのですが、通常と違う点は「3年生が説明するのを聞いて、5年次生が評価する」点です。下級生は教えてもらうだけ、上級生は教えるだけ、とならないように工夫しました。3年次生は係り結びが含まれる百人一首をプレゼンします。5年次生は助動詞が含まれる百人一首をプレゼンして、3年次生に助動詞が含まれる問題を出題します。3年次生20名と5年次生20名がそれぞれの教室にいます。		○										
56	SS物理基礎	4A	4A教室	波の反射(自由端/固定端)	波の反射について、シミュレーションをもとに生徒に考えてもらい、実際に手を動かして図示してもらいます。					○							
57	SS物理基礎	4A	4A教室	波の反射(自由端/固定端)	波の反射について、シミュレーションをもとに生徒に考えてもらい、実際に手を動かして図示してもらいます。					○							
58	SS物理基礎	4A	物理室	電流と磁場	導線に電流を流すと、導線の周りに磁場が生じることを確認するとともに、規則性について考える。また、磁場中にある導線に電流を流すと導線は力を受けることを確認するとともに、規則性について考える。					○							
59	課題探究基礎	4A	4A教室	対話活動	「課題探究 仮テーマによる実証探究 中間報告書」と付箋を用いて4人グループでファシリテーションを行う。				○								
60	物理基礎	4A	4A教室	電気とエネルギー	① 微視的視点から、抵抗内の陽イオンの熱運動からジュール熱を説明する。 ② 巨視的視点から、回路に対して電池がした仕事と抵抗でのジュール熱に等しくなることから電力量を定義する。 ③ [J]と[Wh]の単位の変換について問題演習をする。					○							
61	課題探究基礎	4B	4B教室	「課題探究 テーマ設定」	●4人1グループでファシリテーションを行う。●発表する順番を決める。 ●1番目の人から以下のことを行う。 ●「4年次生 課題探究 仮テーマによる実証探究 最終報告書」の内容を説明する。●残りの3名が付箋に記入する。 ピンク色→ここがいいね 黄色→ここをこうしたらいいんじゃない 青色→疑問・質問 ●A4白紙に付箋を貼って、みんなでグルーピングを行う。●付箋を貼った白紙をもとにディスカッションを行う。 ●終わったら次の人についてファシリテーションを行う。					○							
62	公共	4B	4B教室	資本主義の歴史と経済思想	代表的経済思想を共有し、現状の社会の状況を考慮して、この現状を打破する経済政策を考える。シグノー法を使って学びを拡げ、演劇的手法の一つホット・シーティングを用いて学びを深めていきます。			○	○	○							
63	英語C I	4C	4C教室	ディベート活動	チーム対抗ディベート。It is better to be an early bird than a night owl.「夜型より朝型の方がよい。」という議題で、肯定側・否定側・ジャッジに分かれ、3グループ×4展開で実施する。												
64	英語C I	4C	4C教室	ディベート活動	チーム対抗ディベート。It is better to be an early bird than a night owl.「夜型より朝型の方がよい。」という議題で、肯定側・否定側・ジャッジに分かれ、3グループ×4展開で実施する。												
65	公共	4D	4D教室	刑事模擬裁判	模擬裁判を通して、人権の大切さとそれに対する司法の役割を理解する。また、論理的に思考し、他者との協議において、説得力のある議論の場を協働で形成する能力の育成を目指す。				○	○							
66	公共	4D	4D教室	刑事模擬裁判	模擬裁判を通して、人権の大切さとそれに対する司法の役割を理解する。また、論理的に思考し、他者との協議において、説得力のある議論の場を協働で形成する能力の育成を目指す。				○	○							

No.	科目	クラス	場所	単元名	内容(みどころ)	教科横断型	TO学習	ICT活用	弁証法的授業	STEAM型	課題解決型	問い作り	協働的な学び	個別最適な学び	ALTコラボ	その他
67	SS物理α	5A	2F講義室	コンデンサー(3) ・コンデンサーが蓄えるエネルギー ・コンデンサーの応用問題	普段から、大学理系(数学・物理系)の「学び方」で学習を進めています。具体的には、授業前半では(1)テキストとの対話、(2)グループ内での対話を通して、(3)個の学びを深めています。後半の(4)講義を付加することで、疑問の解決、さらなる疑問の創出などにつなげます。授業終了時にはR80を実施します。					○						
68	SS物理α	5A	2F講義室	コンデンサー(3) ・コンデンサーが蓄えるエネルギー ・コンデンサーの応用問題	普段から、大学理系(数学・物理系)の「学び方」で学習を進めています。具体的には、授業前半では(1)テキストとの対話、(2)グループ内での対話を通して、(3)個の学びを深めています。後半の(4)講義を付加することで、疑問の解決、さらなる疑問の創出などにつなげます。授業終了時にはR80を実施します。					○						
69	英語ライティング演習	5A	5A教室	英語チームディベート活動	チーム対抗ディベート。Plastic bags should be banned from stores.「レジ袋は廃止されるべきである。」という議題で、肯定側・否定側・ジャッジに分かれ、3グループ×4展開で実施する。					○						
70	化学基礎	5A	5A教室	「有機化合物」	※有機化合物の「脂肪族炭化水素」から「酸素を含む脂肪族化合物」あたりの内容になりますが、今後の授業進捗によって当日の内容が読み切れない状況です。 正式な指導計画書は当日教室入り口付近に置かせていただきます。 ※普段通り授業をしますが、それでもよろしければぜひお寄りいただき、ご指導よろしくお願いします。					○						
71	現代文	5B 5C	5B教室 5C教室	『檸檬』プロジェクト ～『檸檬』ワーク&珠玉の問い～	5年次の修学旅行事前学習を兼ねて行う(京都が舞台の作品を読みたいとの生徒の意見より)。生徒案のグループワーク作業や設定した「問い」の深掘り作業を行う。前半3時間は作業&中間報告&他の班からの助言、質問をもらう時間とし、後半4時間で作品や分析結果を発表をしていく。作業と問いは生徒が作成したものを各班が選んでいる。「課題探究」のゼミを想定して、授業案を作成した。今回は前半部分。				○	○						
72	R演習I	5B 5D	教室	長文読解演習	長文を読み、問題の解答・解説をグループごとにスライドで作成する。Classroomで作成したスライドを共有・提示し、解説を行う。											
73	R演習I	5B 5D	教室	長文読解演習	長文を読み、問題の解答・解説をグループごとにスライドで作成する。Classroomで作成したスライドを共有・提示し、解説を行う。											
74	ライティング	5C	5C教室	時事トピックでディベートを行う	ミニディベート ※ディベートは3～4名のチームを作り、肯定側チーム+否定側チーム+ジャッジチームの3チーム1グループで行う。					○						
75	化学基礎	5CD 文系	5C教室	化学の基本法則	現代化学の創成期には、質量保存の法則や原子説など、様々な法則が提案された。今でこそ当たり前のように受け入れられているこれらの基本法則だが、アボガドロの提唱した分子説が世に受け入れられるまでに50年もかかるなど、当時の人々にとっては今でいうタイムマシーンでも発明するかのような提唱であったように思う。教科書ではこれらの重要法則について内容を知るだけの扱いになっているが、その時代背景やその後の化学発展のゆえについても併せて考える。					○						
76	数学Ⅱ	5CD 文系	2階講義室	三角関数・対数関数の微分	前時に学習した三角関数の微分の課題を、4人1組のグループで1人が説明しながら正解の確認をする。その後、中4で習った数Ⅱの対数をとペアワーク・発問等で復習しながら、対数関数の導関数を定義から求める。またその過程で自然対数の底eの存在を、極限值として学ぶ。					AL						
77	数学Ⅱ	5CD 理系	2階講義室	三角関数・対数関数の微分	前時に学習した三角関数の微分の課題を、4人1組のグループで1人が説明しながら正解の確認をする。その後、中4で習った数Ⅱの対数をとペアワーク・発問等で復習しながら、対数関数の導関数を定義から求める。またその過程で自然対数の底eの存在を、極限值として学ぶ。					AL						
78	地理	5D	5D教室	「地理B ここまでのまとめ」	既習範囲、特に地形や気候についてICTを活用して視覚的に確認し、復習する。			○								
79	世界史 政経	6CD	社会科室	世界史における女性たち	政治史が中心である歴史教育の内容には圧倒的に女性が少ない。なぜ女性が政治の場から排除されてきたのかを考え、男女共同参画を実現する中で各自がどう生きるかを考える。	○		○								
80	社会	1A	1A教室	鎌倉時代の文化	鎌倉時代の文化にはどのような特徴があるのか、古代の文化と比較して考える話し合い活動を行います。各時代の文化が政治や人々の生活とつながっていることに気づけるように問いかけの仕方を工夫します。また、授業序盤は文化についての調べ学習を行います。知識を確認する時間と協働的な学びの時間を一時間の中でどう組み立てるか、普段から行っている授業の流れを見ていただければと思います。								○			
81	理科1	1A	化学室	力のつり合い	教科書通りの実験をまず行い、2つの力がつり合う条件を確認します。その上で物体の重心をみつける探究的な課題を与えます。棒を立てて静止させることは難しく、棒をぶらさげて静止することは簡単だという事実と、既習の法則性につながりをもたせていくことで、深化させていきます。											
82	社会	1B	1B教室	鎌倉時代の文化	鎌倉時代の文化にはどのような特徴があるのか、古代の文化と比較して考える話し合い活動を行います。各時代の文化が政治や人々の生活とつながっていることに気づけるように問いかけの仕方を工夫します。また、授業序盤は文化についての調べ学習を行います。知識を確認する時間と協働的な学びの時間を一時間の中でどう組み立てるか、普段から行っている授業の流れを見ていただければと思います。								○			
83	理科1	1B	化学室	力のつり合い	教科書通りの実験をまず行い、2つの力がつり合う条件を確認します。その上で物体の重心をみつける探究的な課題を与えます。棒を立てて静止させることは難しく、棒をぶらさげて静止することは簡単だという事実と、既習の法則性につながりをもたせていくことで、深化させていきます。											
84	英語G	1C	1C	ラオスを知ろう!	国際理解教育の一環として授業を行います。英語でラオスの文化を紹介するオリジナルファベット表を作成し、グループで発表を行います。			○					○			○

No.	科目	クラス	場所	単元名	内容(みどころ)	教科横断型	TO学習	ICT活用	弁証法的授業	STEAM型	課題解決型	問い作り	協働的な学び	個別最適な学び	ALT/コラボ	その他
100	国語 古典	3C & 5D	3C教室 & 5D教室	百人一首で学ぶ文法 ～係り結び(助動詞)～	TO学習なので、上級生が下級生に教えるのですが、通常と違う点は「3年生が説明するのを聞いて、5年次生が評価する」点です。下級生は教えてもらうだけ、上級生は教えるだけ、とならないように工夫しました。3年次生は係り結びが含まれる百人一首をプレゼンします。5年次生は助動詞が含まれる百人一首をプレゼンして、3年次生に助動詞が含まれる問題を出题します。3年次生20名と5年次生20名がそれぞれの教室にいます。5年次生の基礎の定着と3年次生の基礎のスムーズな導入を目的としています。3年次生はカルタ大会や書写、TO学習の復習、百一首目を作成(卒業生の課題探究による)もTO学習の前後に行っています。		○									
101	英語TT	3D	3D教室	サイドリダー(The Canterville Ghost)の 読後感想発表及び内容把握確認クイズ	サイドリダーを各自で読ませるための動機付けになるよう、感想を英語で発表する機会をもちます。また、読んだ物語に関するクイズをKahoot!を使って行います。今回の課題図書は冬休み前後の宿題として課したものです。											
102	国語 古典	3D & 5A	3D教室 & 5A教室	百人一首で学ぶ文法 ～係り結び(助動詞)～	TO学習なので、上級生が下級生に教えるのですが、通常と違う点は「3年生が説明するのを聞いて、5年次生が評価する」点です。下級生は教えてもらうだけ、上級生は教えるだけ、とならないように工夫しました。3年次生は係り結びが含まれる百人一首をプレゼンします。5年次生は助動詞が含まれる百人一首をプレゼンして、3年次生に助動詞が含まれる問題を出题します。3年次生20名と5年次生20名がそれぞれの教室にいます。5年次生の基礎の定着と3年次生の基礎のスムーズな導入を目的としています。3年次生はカルタ大会や書写、TO学習の復習、百一首目を作成(卒業生の課題探究による)もTO学習の前後に行っています。		○									
103	SS物理基礎	4A	物理室	実験「熱量の保存」	開始後、実験課題のプリントを配布し、使用する機器について紹介します。その後、生徒同士で内容を確認し、実験を行います。実験終了後、グラフを作成しながら、課題に取り組みます。生徒同士がやり取りしながら課題を解決していきます。また、各グループのデータをクラス全体で共有するためにICTを活用します。						○		○			
104	英語CI	4A	4A教室	センティビティ(間違えによる思いもよらない発見のこと)についてのミニスピーチ	ジグソー法による対話的な学習。教科書で取り上げられていたセンティビティについての例について書かれた文章をそれぞれが読み、エキスパートグループでキーワードをまとめ、プレゼンテーショングループで自分の役割である例についてのスピーチ(1分英語、1分日本語)を行います。辞書アプリを使うという観点ではICT活用になっています。原稿を作るスピーチだけでなく、即興的なスピーチができるようになるための橋渡しとして、「メモ式スピーキング」のトレーニングを何回か行ってきているが、その一環となっています。			○			○					
105	英語コミュニケーション	4A	4A	Sleeping Patterns in the Animal World	自分で選んだ動物になりきり、パートナーの質問に答えていきます。一問一答だけでなく会話になることを目的としています。後半のインタビューが見どころです。ICTの即時性を活用し、その場においてフォームでBest Speakerを決めます。			○					○			
106	公共	4A	4A教室	人権保障の意義と展開	「人権」「憲法」について知識を確認し、考えます ・自分でまとめる、説明活動、問いをつくる、リフレクションする			○				○	○			
107	論表I	4A	4A教室	前置詞	普段の文法授業です。特に自新しさはないと思いますが、スプレッドシートを使用した問題演習、Canvaを使って作成した動画による臨講練習、予習の成果を各自が確認するための学び合いなど、これまで並木の他の先生方から教えてもらって取り入れた要素を入れて構成しています。			○					○			
108	英語コミュニケーション	4B	4B	Jigsaw Reading on Realise Japan	サイドリダー『Realise Japan』から抜粋された8章を使ってジグソー法によるリーディング活動を行います。既に前時でエキスパートグループによる精読を済ませています。本時ではジグソーグループを作り、それぞれの生徒が各章のプレゼンテーションを行うことで、8章分の概要を把握します。外国人の目で見た日本の姿を知ること、自国の文化や習慣を客観視する経験にします。								○			
109	英語CI	4C	4C教室	センティビティ(間違えによる思いもよらない発見のこと)についてのミニスピーチ	ジグソー法による対話的な学習。教科書で取り上げられていたセンティビティについての例について書かれた文章をそれぞれが読み、エキスパートグループでキーワードをまとめ、プレゼンテーショングループで自分の役割である例についてのスピーチ(1分英語、1分日本語)を行います。辞書アプリを使うという観点ではICT活用になっています。原稿を作るスピーチだけでなく、即興的なスピーチができるようになるための橋渡しとして、「メモ式スピーキング」のトレーニングを何回か行ってきているが、その一環となっています。			○			○		○			
110	公共	4C	4C	刑事司法と司法参加の意義 ～模擬裁判をやってみよう～	2023年度より裁判員年齢が18歳に引き下げられたため、公共の授業中に模擬裁判を体験し、実際に裁判員となったときの準備をすることへの要望が高まっている。模擬裁判では①事実を的確に把握し、多角的な視点で考える力 ②事実に基づいて論理的に意見を校正する力 ③意見をわかりやすく他者に伝える力が育成される。今回は、法務省が作成し公開している教材を用いて、裁判を身近に感じるきっかけとすることを旨とする。 ※6/21(水)5時間目に実施いたします。法務省職員・検察官と協働で行う授業です。				○				○			
111	公共	4C	4C教室	労働	労働の意義 労働法・労働者のための制度に関する考え方							○	○			
112	SS 物理α	5A	5A教室	電磁誘導	回路を固定し、磁場が時間的に変化する条件でのファラデーの電磁誘導の法則について考えます。								○	○		
113	SS 物理α	5A	5A教室	電磁誘導	磁場が時間的に変化しない場合、回路が磁場中で運動する場合の誘導起電力をファラデーの電磁誘導の法則から考えます。								○	○		
114	SS物理α	5A	5A	電場	前半の25分程度について、生徒が教科書やグループの仲間との対話を通して「電場」について学習を進めていきます。後半、一斉形式で「電場」について概説を行ったあと、最後の5分程度でR80を用いて振り返りを行います。								○			
115	数学II	5A	5A	「数学II 第2章極限」漸化式で定められる数列の極限および無限級数	生徒への問いかけを通して授業を展開する。 無限和という世界に触れる。								○			

No.	科目	クラス	場所	単元名	内容(みどころ)	教科横断型	TO学習	ICT活用	弁証法的授業	STEAM型	課題解決型	問い作り	協働的な学び	個別最適な学び	ALT/コラボ	その他
116	理系化学	5A	5A教室	理想気体と実在気体	AさんBさんペアワーク、問いストーリーミング、ミニ学び合い							○	○			
117	SS物理α	5A 5B	5A教室 2F講義室	万有引力の法則	(前半) 太陽系の惑星の公転軌道のデータから、ケプラー第3法則を導く。 (後半) 万有引力の法則について教科書を読みながらプリントの問いに答える。								○	○		
118	SS物理α	5A 5B	5A教室 2F講義室	万有引力の法則	(前半) 教科書を読みながらプリントの問いに答える。 (後半) 内容の概説、運動方程式からケプラー第2法則の導出								○	○		
119	SS物理α	5B (物理選択)	2階講義室	電流と磁場	アンペールカとローレンツカの関係について考えます。								○	○		
120	SS物理α	5B (物理選択)	物理室	電流と磁場	電子のらせん運動を観察するとともに、らせん運動についての理解を深める。また、ホール素子について、ローレンツカで説明できるようにする。								○	○		
121	SS物理α	5B (物理選択)	5A教室	電磁誘導	回路を固定し、磁場が時間的に変化する条件でのファラデーの電磁誘導の法則について考えます。								○	○		
122	古典探究	5B 5A 5B 5A	5B 5A 5B 5A	「伊勢物語」初冠	グループ学習した後の生徒による授業です。時間帯によっては、グループ内あるいはグループ間の検討時間の場合もあります。音読、現代語訳に加え、ポイントとなる単語や古典常識、文法等の伝え方を工夫して全体共有することをめざします。グループの担当箇所によっては「深掘りした問い」を立て、検討結果を共有します。							○	○			
123	地理総合	5B 5D 5C 5C 5B 5D	5B 5D 5C 5C 5B 5D	世界の地形と人々の生活	KP(紙芝居プレゼンテーション)法を用いて、生徒が授業をします。生徒授業→教員解説・補足の流れで進みます。KP作成を通して、大事なポイントを生徒自身に掴ませ、それを授業という形で他の生徒に共有していきます。 ※どのクラスでも生徒授業をやる予定ですが、変更になる場合もあります。また、生徒授業の時もあれば、KP作成の時もあります。予めご容赦ください。			○				○			○	
124	英語CⅡ	5C	5C教室	Accessible Japan	障がい者のために活動するJosh Grisdale氏のインタビューをもとに、日本での観光バリアフリーについて考えを深め、意見を交換することを目的とします。本授業は初回導入部分で、サイト「Accessible Japan」にアクセスし、来日する車いすを利用している友人にお薦めの観光地を提案するという設定です。時間内に必要な情報を読み取り、整理して、相手にわかりやすく伝える技能を養います。			○					○			
125	地理総合	5C	5C教室	EU統合を巡るスパイダー討論(仮)	建設的対話(議論)を行うための手法である「スパイダー討論」を用いて、EU統合を巡る議論を行う予定です。 ※進捗の関係でもしかしたら実施しないかもしれません。また、内容が変わるかもしれません。予めご容赦ください。 ※地理的というよりも公民的です。ある意味では国語的かもしれません。 ※昨年度(4年次)まで用いていた手法で、継続的に行うことで効果があるものです。今年度は全く行っていないので、上手くいかないかもしれません。お許しください。			○	○		○	○				
126	数学B	5CD	5D	数学B 統計的な推測 仮説検定 ～正規分布を利用して、設定した仮説の正否を判断する～	問題練習時においてグループワークを取り入れる。指示された問題がすでに解けている生徒は他の生徒に教える。これによる「相互学びあい」により、学習の定着と理解を図る。グループワークの場において余裕のある生徒に対し、別解を考えさせる。希望があれば解を板書・口頭発表させる。これにより各自が習得した内容の発展化を図る。								○			
127	日本史探究	5CD 文系	5C教室	戦国時代	戦国大名は分国支配を強固にするためにどんな工夫をしていたか 普段の授業です。資料を見ながらみんなで考えます。							○	○			
128	英語 ミニディベート	6A	6A教室	英語ディベート：政府はAIの活用を推進すべきである	本校の伝統的なディベート授業です。5年次ではスピーチの作り方、ディベートの方法を実践をとして学び、6年次ではディベートを通して考察した両サイドの考え方をエッセイライティングでまとめます。2時間で1トピックを扱い、1時間目は論議に関する知識の整理と下記の通りの活動となります。 1. トピックに関するブレインストーミング 2. 論議に対する肯定側・否定側意見についてのディスカッション 3. 両側の意見の発表と参考例の提示 4. スピーチ作成 5. ペアでミニディベート											○
129	公民演習	6AB 6CD	6B 6C	社会保障制度と福祉のあり方	「ベジックインカム導入の是非(仮)」に関する議論を行います。 改良型トータルミンモデルを用いて、社会的論争問題における価値の対立構造を可視化し、納得解の創造を目指します。 1時間目は立論作成、2時間目は議論の予定です(12日6時間目のAB組は2時間目の議論です)。改良型トータルミンモデルは、2時間目のみ登場します。 ※議論のテーマや授業方法は変更になる場合もあります。予めご容赦ください。			○	○		○	○				
130	SS物理β	6CD 6A	3F講義室	力学演習	「人工衛星の楕円運動」について演習を行います。 (前半) 生徒個々の問題演習(6A) / グループでの問題演習(6CD) (中盤) 解説を読みながら生徒同士での内容の確認 (後半) 授業者による概説(一言授業)								○	○		

No.	科目	クラス	場所	単元名	内容(みどころ)	教科横断型	TO学習	ICT活用	弁証法的授業	STEAM型	課題解決型	問い作り	協働的な学び	個別最適な学び	ALT/コラボ	その他	
131	SS物理β	6CD 6A	3F講義室	力学演習	「ゴムひもでつながれた物体の鉛直方向の運動」について演習を行います。 (前半)生徒個々の問題演習(6A) / グループでの問題演習(6CD) (中盤)解説を読みながら生徒同士での内容の確認 (後半)授業者による概説(一斉授業)								○	○			
132	理科1	2C	化学室	酸化銅の還元	「化学変化の激しさを決めるものは何か」は学習中単元の大きなテーマです。炭素が酸化物から酸素をうばう還元の実験を行います。擬人化した原子による酸素との結びつこうとする強さのちがいで理解できるよう、グループでの対話を入れていきます。また、二酸化炭素中でマグネシウムを燃焼させる実験について、議論させます。		○			○		○					
133	6年理系化学	6AB	6A	有機化学(カルボン酸)	AさんBさんペアワーク ミニ学び合い (理科以外の科目でも活用できる方法かと思えます)							○	○				
134	社会	3A	3A教室	第六章二度の世界大戦と日本 第三節恐慌から戦争へ ①満州は日本の生命線	「15年戦争」の幕開けとなる満州事変、その発生経過とその後の国内外での日本政府の動向を理解させる。積極的な発問とこれまでの時代変化の流れを適宜復習、説明し、知識の定着と歴史事象への興味関心、及び歴史事象に基づいた現代の生活に活かす知識を顧みる機会を与える。			○	○	○		○	○				
135	古典探究	6A	6A教室	更級日記 (源氏の五十余巻)	(授業開始5分間古典常識小テスト実施)グループ学習した後の生徒による授業です。時間帯によっては、グループ内あるいはグループ間の検討時間の場合もあります。音読、現代語訳に加え、ポイントとなる単語や古典常識、文法等の伝え方を工夫して全体共有することをめざします。グループの担当箇所によっては「深掘りした問い」を立て、検討結果を共有します。			○				○					
136	日本史研究	6年 CD文系	6D教室	藩閥政府の形成と四民平等	四平等民平等は、平等に負担させるという意味があることを、負担の具体的内容から理解する。		○										
137	古典探究	6B	6B教室	更級日記 (源氏の五十余巻)	(授業開始5分間古典常識小テスト実施)グループ学習した後の生徒による授業です。時間帯によっては、グループ内あるいはグループ間の検討時間の場合もあります。音読、現代語訳に加え、ポイントとなる単語や古典常識、文法等の伝え方を工夫して全体共有することをめざします。グループの担当箇所によっては「深掘りした問い」を立て、検討結果を共有します。			○				○					
138	論理・表現Ⅱ TT	5B	5B教室	CROWN II Manga Find Ever-increasing Global Fans	あるテーマに関するブレインストーミングの後、英語によるライティングに取り組み、スプレッドシートやロイロノートを使って共有・添削を行う。					○		○		○			
139	論理表現Ⅱ	5B	5B教室	CROWN II Manga Find Ever-increasing Global Fans	パラグラフ・ライティングに取り組み、スプレッドシートやロイロノートを使って共有・添削します。					○		○		○			
140	英語コミュニケーションI	4D 4C 4B 4A	各教室	NZ事前研修(日本文化、異文化理解)	(授業始めに単語テスト実施) 開始から15分後、ALTのマイケル先生の日本での異文化体験などを話してもらい、その後、文化の違いや海外旅行先でのトラブルなどを題材としたスキットを生徒に作成してもらい、発表させる。最後に、スキットを作ったり、見たりしたこと、異文化理解に関する生徒の振り返りを行う。	○	○					○		○			
141	英語TT	2B 2C	各教室	Small Talk 英語で雑談しよう!	1つの話題について、ブレインストーミングをした後、ペアで2分間継続して英語で会話をする活動を行います。どんな相手とでも話はずむように、相づちを打ったり、質問をしたりする練習をします。			○				○		○			
142	理科1	2C	化学室	酸化銅の還元	「化学変化の激しさを決めるものは何か」は学習中単元の大きなテーマです。炭素が酸化物から酸素をうばう還元の実験を行います。擬人化した原子による酸素との結びつこうとする強さのちがいで理解できるよう、グループでの対話を入れていきます。また、二酸化炭素中でマグネシウムを燃焼させる実験について、議論させます。		○			○		○					
143	代数	1A	1A教室	式の計算	授業のはじめ10分間程度は計算力テスト(KBB第1シーズン3回目)実施。その後、「単項式・多項式と数の加法・除法」「いろいろな計算」について、計算法則に従って処理する。後半で時間に余裕があれば、ペアワーク。多項式の計算問題を自由に作問させ、ペアワークで解かせる。	○		○				○					
144	論理・表現Ⅲ	6C	6C教室	Unit 4 "3R approach in order to save the environment" (FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ)	「比較・対比型(複数のものを比較して説明するタイプ)」の英文パラグラフを書く。					○		○		○			
145	古典探究	5C	5C教室	古文「初冠」	生徒によるテスト問題の作問			○									
146	化学基礎	3B	地学室	物質と化学結合	分子模型を組み立てる 全生徒が分子模型を組み立てることによって共有結合の理解及び分子の形を理解する。 興味ある分子を組み立て、他の生徒と比較し班ごとに最も面白い分子を発表する。					○	○	○					
147	国語A	1C	1C教室	読む「さんちき」	読みのポイントの確認後、主人公の心情変化についてペア・グループで話し合う。 振り返りとしてR80を行う。			○				○			○		
148	国語A	2D	2D教室	枕草子・徒然草	清少納言の性格が文章からにじみ出ている部分の現代語訳を通し、生徒が自力で清少納言の性格を把握できるようにします。発表ではロイロノートを活用します。		○			○		○					

No.	科目	クラス	場所	単元名	内容(みどころ)	教科横断型	TO学習	ICT活用	弁証法的授業	STEAM型	課題解決型	問い作り	協働的な学び	個別最適な学び	ALT/コラボ	その他
149	社会(地理)	1D	1D教室	日本の諸地域	北方領土・竹島・尖閣諸島といった日本をとりまく領域をめぐる問題について、グループ内で分担して調べた後、領土問題を前進させるためにできる「私にとっての一步」を考え議論する活動を通して、日本の領域の特色を理解する。		○					○				
150	国語A	1A	1A教室	読む「さんちき」	読みのポイントの確認後、主人公の心情変化についてペア・グループで話し合う。 振り返りとしてR80を行う。			○				○				○
151	英語コミュニケーションI	5D	5D教室	Stay Hungry, Stay Foolish	ごく普通の教科書のアクティビティです。ジョブズは自身が読んだ本の中で、Stay Hungry, Stay Foolishという言葉に出会い勇気づけられました。同じように生徒はどのような言葉に勇気づけられているのかを英語で発表する。PCの辞書アプリを使って良いことにしています(ICT活用)。昨年度よりメモを書いて発表させるという、即興的なスピーチにつながるような活動をしてきました。			○		○		○	○			
152	社会	2C 2A 2D	各教室	江戸時代はなぜ260年続いたか	「幕藩体制の確立と鎖国」の単元を「江戸時代はなぜ260年続いたか」という単元を貫く問いで学習する3時間目。グループごとに幕府が長く続いた要因を分類・調査したものを他者に説明するためにまとめる活動を行います。授業冒頭は重要語句の確認、その後、グループで発表に向けた準備より説得力のある説明になるようにプレ発表を行い助言しあう活動を行います。		○					○				
153	公民研究	6CD理	6C教室	日本の政治機構	授業冒頭5分は、イントロダクションの活動(10日はニュースプレゼン、11日は株式学習ゲーム)を行います。次に、ペアワークを交えながら、講義と課題への解答を行います(10日は国会、11日は内閣に関する内容)。その後、「政治を任せること(代表制民主主義)は、民主政治の実現につながるのか」をテーマとして、資料をもとに首相公選制に関する議論を行います(仮)。※議論は、11日の授業がメインで行うことになると思います。最後に、振り返りとして、リフレクションシートへの記入を行います。		○			○		○				○
154	公民研究	6ABC D文	6C教室	日本の政治機構	授業冒頭5分は、イントロダクションの活動(10日はニュースプレゼン、11日は株式学習ゲーム)を行います。次に、ペアワークを交えながら、講義と問いへの解答を行います(10日は国会、11日は内閣に関する内容)。その後、「政治を任せること(代表制民主主義)は、民主政治の実現につながるのか」をテーマとして、資料をもとに首相公選制に関する議論を行います(仮)。※議論は、11日の授業がメインで行うことになると思います。最後に、振り返りとして、リフレクションシートへの記入を行います。		○			○		○				○
155	地理総合	5A	5A教室	世界の地形	授業冒頭10分で、各班で生徒によるプレゼンを行います。次に、生徒プレゼンを踏まえて、講義や資料の読み取り、問いへの解答を行います(10日は大地形、11日は変動帯に関する内容)。最後に、振り返りとして、リフレクションシートへの記入を行います。		○	○		○		○				○
156	地理総合	5C	5C教室	世界の地形	授業冒頭10分で、各班で生徒によるプレゼンを行います。次に、生徒プレゼンを踏まえて、講義や資料の読み取り、問いへの解答を行います(10日は大地形、11日は変動帯に関する内容)。最後に、振り返りとして、リフレクションシートへの記入を行います。		○			○		○				○
157	論理表現I	4A 4C	各教室	副読本 Australia and New Zealand	NZ研修事前指導の一環として行う。英語によるクイズを通して、2国の基本的な情報や2国間の類似点や相違点を読み取る。そして、新たに出現した疑問点を問いにする。この問いに答えるべく、現地で研修させたい。最後に、PCを使って、ここで得た情報と問い、感想をまとめて100語以上の英語で書き、提出する。	○		○		○		○	○	○		
158	公共	4A	4A教室	ヨーロッパの近代思想	弁証法的に事象をとらえてみよう 弁証法的に論を展開してみよう				○	○		○				
159	技術	CBA D	技術室	生活に必要なものを考えよう。	身の回りの問題を見つけ、課題を設定し、製作を通して、自分なりの解決策を提案する。また、振り返りは、Googleフォームを利用して、製作の進捗や工夫した部分の画像を送信したり、生産者側の工夫を文章でまとめる。		○			○			○			
160	日本史探究	5年 CD 文系	5年D組 教室	モンゴル襲来	史料からモンゴル襲来を幕府および武士たちがどのようにとらえたかを知る							○				
161	国語	1C 2B	1C教室 2B教室	単語の分類	T0学習を通して1年次生が2年次生から「自立語と付属語」、「活用」、「品詞」について教授される活動を実施する。後輩への指導の場面では、後輩の理解の状況に応じた確認問題を提示し、知識の定着を図る。授業後半では確認テストを実施することで、2年次生にとっては自分の指導の形成的評価に、1年次生にとっては知識定着度の確認とする。	○						○	○			○
162	社会	2A 2D	教室	近代世界の確立とアジア	市民革命と産業革命を経て、欧米が列強とよばれる近代的な社会を成立させたことがどのような影響を与えているのか、様々な視点から考える。欧米とアジアという国の違いだけでなく、現在の政治や社会への影響も視点として加えて、歴史的事象と自分たちの生活とのつながりに気付けるようにしたい。							○				
163	物理	5CD	物理室	波動(光波) ～光の波長を測定せよ!～	CDの干渉スペクトルをスマホの録画機能を用いて測定し、それぞれの光の色の波長を計算する。					○		○				
164	公共	4C	4C	司法のしくみと役割	1968年に起きた「和田心臓移植事件」について、東京地検による捜査報告書(要旨)ほか資料を題材として授業を行う。資料中の難解な部分については生徒相互に理解を補い合いながら、事件の概要や争点、捜査の手法、その後の我が国の医療や行政に与えた影響などを読み取っていく。科学と倫理の問題についても考えるきっかけとしたい。			○	○			○				

No.	科目	クラス	場所	単元名	内容(みどころ)	教科横断型	TO学習	ICT活用	弁証法的授業	STEAM型	課題解決型	問い作り	協働的な学び	個別最適な学び	ALT/コラボ	その他
165	現代の国語	4D	4D教室	他者を理解するということ	文章構成の確認、内容読解をペアワークを交えながら行う。少し「読みづらい」文章について、なぜ読みづらいと思ったのか考え、今後の学習の見直しを立てる。		○					○				
166	国語A	1C	1C教室	物語文「少年の日の思い出」	本文を根拠に人物像を捉え、グループで他己紹介する。ペアで主人公の心情を場面ごとに追い、その変化に気づく。		○					○				
167	英語・言語文化	4 D4C	各教室	Cool Japan! 歌物語	百人一首カルタを英語で実施します。それぞれが英訳した歌とお手本となる英語訳、そして、元になる和歌がどのように表現されているのか比較し、言語の面白さを発見してもらいます。			○								
168	家庭基礎	1B	被服室	エプロン製作	ペアでミシンとクロームを使い、ミシンを使ってエプロン製作をします。本体にポケットを付ける作業を中心にを行います。					○			○			
169	音楽	1C	音楽室	創作「単元最終課題」 ～自作曲の創作	20sec.～5min.程度の曲を1曲作曲することを、今回の創作の授業の最終課題としています。冒頭1分程度教員から「創作上の残り時間」をアナウンスした後は、すべて生徒が創作する時間となります。解説は行いません。生徒がChromebookで音を出し(プログラミングする生徒もいます)、手元の資料を見て、悩みながら、あの手この手で曲を創作する姿をご覧ください。		○			○	○		○			
170	英CTT	5A 5B 5C 5D	LL教室	ディスカッション パフォーマンステスト	これまで授業で行ったディスカッションのトピックを使ってスピーキングテストを行います。生徒は2人1組になり、英語による対話を各自に評価されます。(テスト中ですので、入室は教室前方のみとなります)			○						○		
171	英語G	2B 2C	各教室	Lesson 4 Grammar 不定詞	不定詞の副詞的用法の導入とChatGPTを活用した言語活動を実施します。生徒と教師、生徒同士のインタラクションを中心に授業を行います。			○		○		○				
172	英語CⅡ・地理総合	5A	5A教室	日本における多文化共生の在り方を考えるー英語ロールプレイを通してー	日本における在留外国人の人口が増加し、多文化共生が喫緊の課題となっている。日本において多文化共生はどうあるべきか、具体的な事例をもとに、英語ロールプレイを通して考える。		○		○		○					
173	古典探究 論理国語 日本史探究	5CD 文系 6CD 文系	ラーニング 共通モ ズ	日本史を古典で深掘りしよう	6年CD組文系生徒が企画した授業です。日本史の史料は古文漢文が多く、読解が必要でありながら読みにくいという悩みを解消すべく、6年次生が5年次生に古典で書かれた史料を読み解きながら日本史を深掘りするという授業内容です。後半は5年次生によるアウトプットを6年次生が評価する、全体共有するという取り組みも行います。12班に分かれていますが、内容は6テーマです。同じ時代を描いている「吾妻鏡」と「玉葉」という書き手の立場の違いを比較したり、「道鏡」に続日本紀や坂口安吾の文章で迫ったりと6年次生自身には復習となるだけでなく、考察の楽しみもあり、5年次生には史料の読みやすさにつながるのではと思います。古典が理解のためのツールとなることを願っています。											
174	国語	2B	2B教室	平家物語	平家物語の「扇の的」について現代語訳を全体で確認後、平家物語の表現の特徴をジグソー学習で整理していきます。ロイロノートで資料を作成し、生徒間で共有します。							○				○
175	課題探究基礎	4C	4C教室	課題探究で活用できる統計～偏差値～	「偏差値とは何か」、「どのように偏差値を課題探究のデータ分析に活用できるか」を講義した後に、Excel、Googleスプレッドシートでデータを偏差値換算する方法を実習する。また、自分の探究でどのようなデータを取れば、偏差値を活用できるかを考えてグループでディスカッションする。					○	○	○	○			
176	家庭基礎	5C	調理室	調理実習「ベトナム料理に挑戦！」	ベトナムへの修学旅行を控え、ベトナムの食材の原料や調味料の特徴を知り使い方を習得する。ベトナム料理の調理実習(フォー・カン(鶏うどん)やゴイ・クン(生春巻き)に主体的・対話的に取り組み、コミュニケーションを向上させながら料理を完成させることができる。		○					○				
177	英語・言語文化	4 A4B	各教室	Cool Japan! 歌物語	百人一首カルタを英語で実施します。それぞれが英訳した歌とお手本となる英語訳、そして、元になる和歌がどのように表現されているのか比較し、言語の面白さを発見してもらいます。			○								
178	物理	5CD	物理室	波動(音波) ～Musical scale journey～	様々な楽器(ピアノ、バイオリン、エレキベース等)の周波数を測定し、データの解析・分析を行う。そこから得られた情報を基に、班ごとにオリジナル問題(ナゾ)に取り組み、最後に考察を行う。楽器の測定データから音階は等比数列や指数関数であること、心地よく聞こえる和音の数学的意味、鍵盤と片対数グラフの関係などに気づかせたい。そこから物理学と音楽、数学が密接につながっていることを感じさせたい。					○	○		○			
179	日本史探究	5CD 文系	5D	戦国大名の登場	試験前に、高速で進める普通の授業							○				
180	数学	3D	3D	第4章「式と証明」(等式・不等式の証明)	問題練習時においてグループワークを取り入れる。指示された問題がすでに解けている生徒は他の生徒に教える。これによる「相互学びあい」により、学習の定着と理解を図る。グループワークの場において余裕のある生徒に対し、別解を考えさせる。希望があれば解を板書・口頭発表させる。これにより各自が習得した内容の発展化を図る。							○				
181	国語A	3C 3C 3A	3C 3C 3A	超訳！三大和歌集	教科書の和歌をクラスで分担して調べ、文法事項だけでなく超訳(直訳ではなく意味合いを重視した意訳)をつくり、ロイロノートにまとめて、発表する。		○					○				
182	社会(地理)	1A	1A	世界の諸地域「南アメリカ州」※1時間目	「開発と環境破壊」をテーマに、ブラジル(アマゾン地域)の事例を取り上げる。経済発展と熱帯雨林伐採を中心にブラジルの変化を大きくとらえ、学習課題をつかむ。					○						
183	理科1	2A 2D	化学室	電流の正体(静電気と放電)	ハンデグラフ(静電気発生装置)を使った楽しい実験。サイエンスショーのような演習実験、痛いがやみつきになる生徒実験があります。エンターテインメント性が高い授業です。							○				
184	社会(地理)	1D	1D	世界の諸地域「南アメリカ州」※3時間目:まとめ	「開発と環境破壊」をテーマに、ブラジル(アマゾン地域)の事例を取り上げる。環境破壊の原因には多様な主体が関わっていることをとらえた上で、環境破壊の責任はだれが(どの主体が)どう負うべきかを考える。					○		○				